

SOMPO
チャレンジド

社内留学制度を創設

新たな仕事に25人挑戦

SOMPOホールディングスの特例子会社

であるSOMPOチャレンジドは「社内留学制度」を創設し、障がいを持つ社員の自発的

な挑戦と成長を後押ししている。

同制度は、本人の希望制で勤続月数に応じて1、3、5日間、所属先と異なるチームで

定着率の向上や成長につながるほか、会社全体の業務理解を深める目的。

同制度は、「環境変化への対応が難しい人もいるが、自ら挑戦することを大事にしてほしい」（同社）と創設。

の仕事を知って、さらに知識を増やしたり、交流ができれば」と応募。顧客アンケートデ

ータ入力などをする西東京オフィスのチームに留学した。3日間で、業務の進捗しんちやく、管理や仕事の分担の方法など所属する職場より先行する効率化策を習得。西

新たな仕事を体験する。新たな業務や職場で刺激を受けることで

25人が他職場に留学している。留学先は12チームから希望を聞き決定する。

期との交流も楽しんだ。今後は、想定以上の応募があったことを踏まえ、2月に第2弾を実施する予定。制度を通じて適性や能力の発見につながる。障がい



アンケートデータの入力方法を教わる島崎さん（右、西東京オフィス）

日頃、新宿オフィスで不着案内はがきのデータ入力などをする島崎有輝さんは「他拠点

今後は、想定以上の応募があったことを踏まえ、2月に第2弾を実施する予定。制度を通じて適性や能力の発見につながる。障がい

者雇用の大きな課題に
挙がる定着率の向上に
向けて、将来的にはシ
ョブローテーション制
度に発展させることも
検討している。